

スーパーマーケット景気動向調査

11月調査結果(10月実績)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因について補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

調査項目①

スーパーマーケット中核店舗における「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」について、前年同月及び前月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

調査項目②

「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」の各カテゴリーについて、当月における好調カテゴリーと不調カテゴリーとその要因を調査

【景況感調査】

調査項目

「景気状況」、「消費者購買意欲」、「周辺の競合状況」、「周辺地域の景気」について、2~3か月前と比較した現状及び今後2~3か月の見通しを「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

2012年11月21日

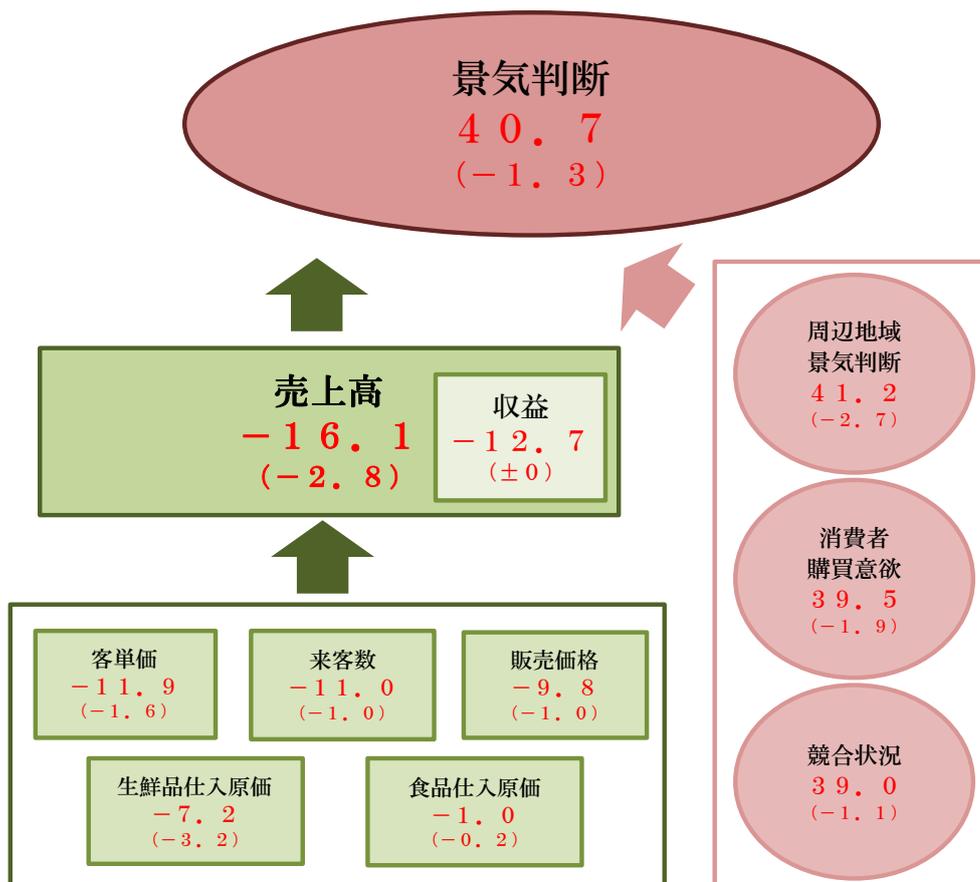
日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

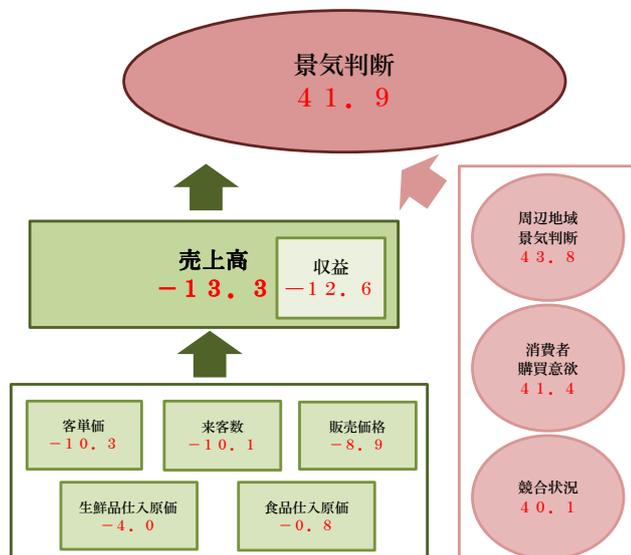
I. 調査結果概況

10月スーパーマーケット中核店舗における景気判断は、40.7と厳しい判断となった。前年同月に比べ土日が少ない影響も重なり、売上DIは-16.1と前月よりさらに悪化した。収益DIを除くすべての経営動向DIが悪化しているが、生鮮品仕入れ原価DIが-7.2と大きく下降している。これは、コメントTOP3にもあげた青果相場安と考えられる。景況感調査DIも前月に比べすべて悪化しているが、なかでも周辺地域DIが比較的大きく低下しており、景気の減速感が鮮明となっている。年末商戦に向けて、次月以降底打ち傾向がみられるか注目したい。

10月中核店舗における景気動向（速報版）



9月中核店舗における景気動向（確報版）



景気動向調査コメント キーワードTOP3

1. 前年に比べて土日が一回ずつ少ない
2. 青果の相場安
3. 競合状況

■ 経営動向調査DI（当月と前年同月との比較）
 ● 景況感調査DI（現状と2～3ヶ月前との比較）
 （ ）内は、前月DIとの増減（赤字はDI減少）

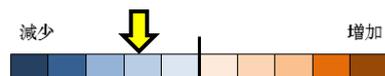
9月調査確報版 集計企業数：285社
 10月調査速報版 集計企業数：252社

II. 調査結果詳細

1. 経営動向調査（前年同月との比較）

①売上高 DI

（前月からの回答構成比の変化：横ばい）

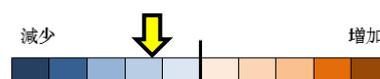


回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	9.2	52.1	23.8	12.4	2.5	-13.3
売上高 (当月)	11.2	55.6	20.4	12.0	0.8	-16.1



②収益 DI

（前月からの回答構成比の変化：↑ 変わらない / ↓ やや減少）

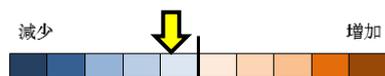


回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	9.8	48.6	25.7	14.1	1.8	-12.6
収益 (当月)	11.0	44.3	30.1	13.4	1.2	-12.6

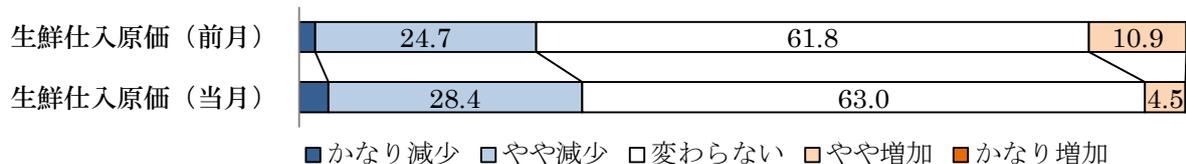


③生鮮仕入原価 DI

（前月からの回答構成比の変化：↑ やや減少 / ↓ やや増加）

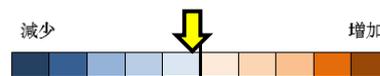


回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	1.8	24.7	61.8	10.9	0.7	-4.0
生鮮仕入原価 (当月)	3.3	28.4	63.0	4.5	0.8	-7.2

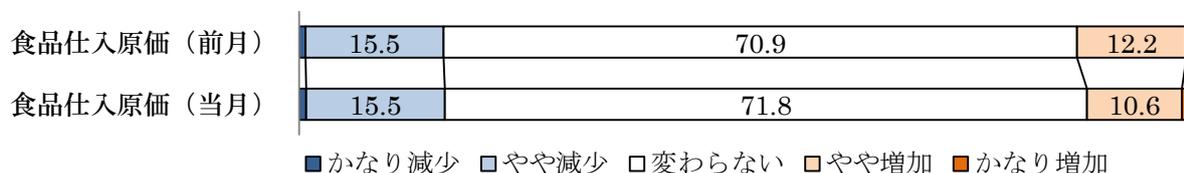


④食品仕入原価 DI

（前月からの回答構成比の変化：横ばい）

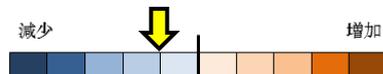


回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.7	15.5	70.9	12.2	0.7	-0.8
食品仕入原価 (当月)	0.8	15.5	71.8	10.6	1.2	-1.0



⑤販売価格 DI

(前月からの回答構成比の変化：横ばい)



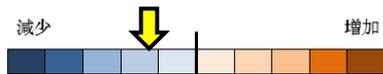
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	1.8	35.1	59.9	3.2	0.0	-8.9
販売価格 (当月)	2.8	38.5	54.4	4.0	0.4	-9.8



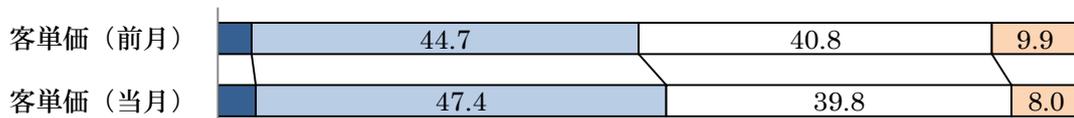
■かなり減少 □やや減少 □変わらない □やや増加 ■かなり増加

⑥客単価 DI

(前月からの回答構成比の変化：横ばい)



回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	3.9	44.7	40.8	9.9	0.7	-10.3
客単価 (当月)	4.4	47.4	39.8	8.0	0.4	-11.9



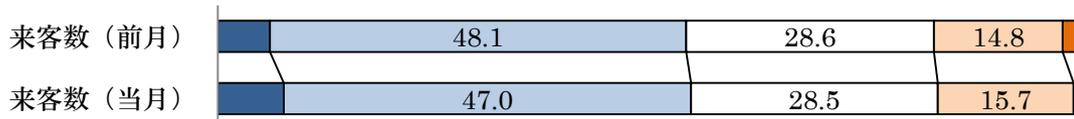
■かなり減少 □やや減少 □変わらない □やや増加 ■かなり増加

⑦来客数 DI

(前月からの回答構成比の変化：横ばい)



回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	6.0	48.1	28.6	14.8	2.5	-10.1
来客数 (当月)	7.6	47.0	28.5	15.7	1.2	-11.0



■かなり減少 □やや減少 □変わらない □やや増加 ■かなり増加

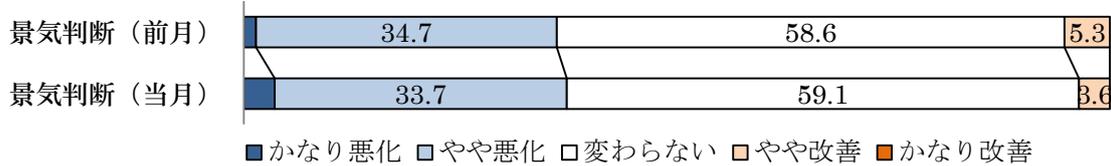
2. 景況感調査（現状判断：2～3カ月前と比べて）

①景気判断 DI

（前月からの回答構成比の変化：横ばい）

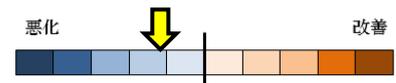


回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
景気判断（前月）	1.4	34.7	58.6	5.3	0.0	41.9
景気判断（当月）	3.6	33.7	59.1	3.6	0.0	40.7

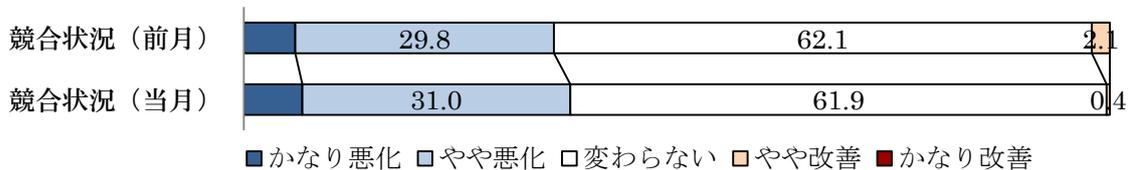


②周辺競合状況 DI

（前月からの回答構成比の変化：横ばい）



回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
競合状況（前月）	6.0	29.8	62.1	2.1	0.0	40.1
競合状況（当月）	6.7	31.0	61.9	0.4	0.0	39.0

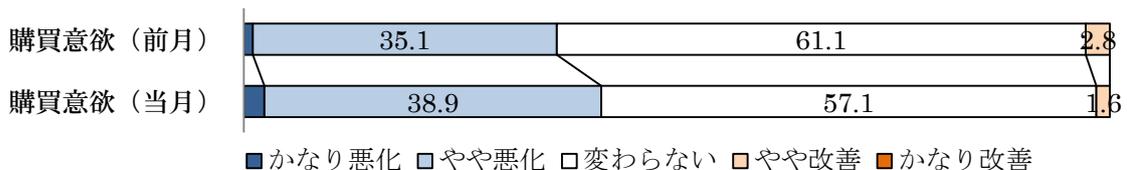


③消費者購買意欲 DI

（前月からの回答構成比の変化：横ばい）

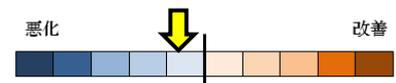


回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
購買意欲（前月）	1.1	35.1	61.1	2.8	0.0	41.4
購買意欲（当月）	2.4	38.9	57.1	1.6	0.0	39.5

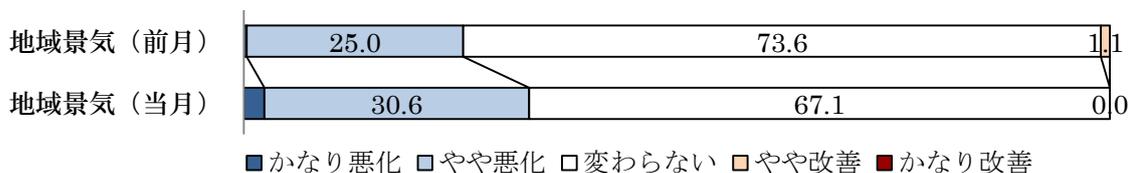


④周辺地域景気状況 DI

（前月からの回答構成比の変化：↑ やや悪化 / ↓ 変わらない）



回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
地域景気（前月）	0.4	25.0	73.6	1.1	0.0	43.8
地域景気（当月）	2.4	30.6	67.1	0.0	0.0	41.2

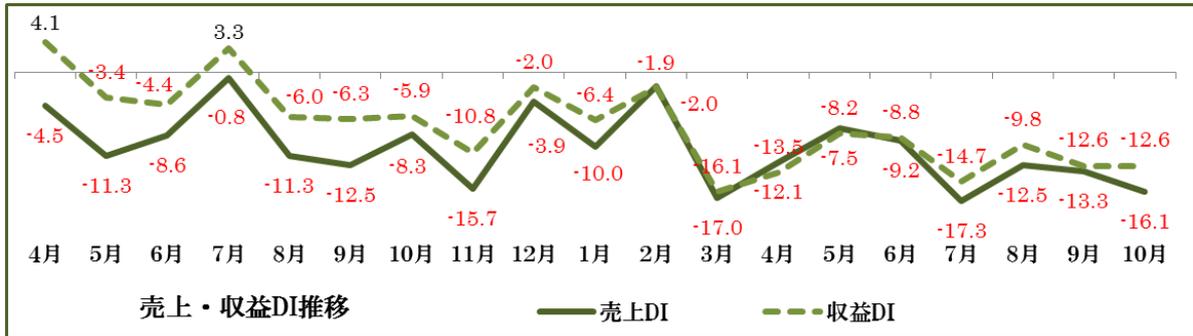


II. 調査結果推移 (2011年4月～)

1. スーパーマーケット経営動向調査

①売上高DI・収益DI

「売上高DI」下降、「収益DI」横ばい



②客単価DI・来客数DI

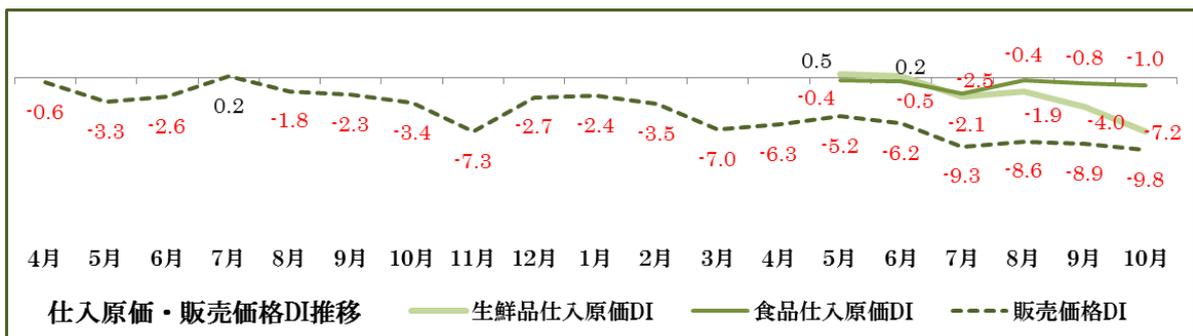
「客単価DI」「来客数DI」共に下降



③生鮮品仕入原価DI・食品仕入原価DI・販売価格DI

「生鮮品仕入原価DI」3ヵ月連続下降、「食品仕入原価DI」横ばい

「販売価格DI」下降



2. スーパーマーケット景況感調査

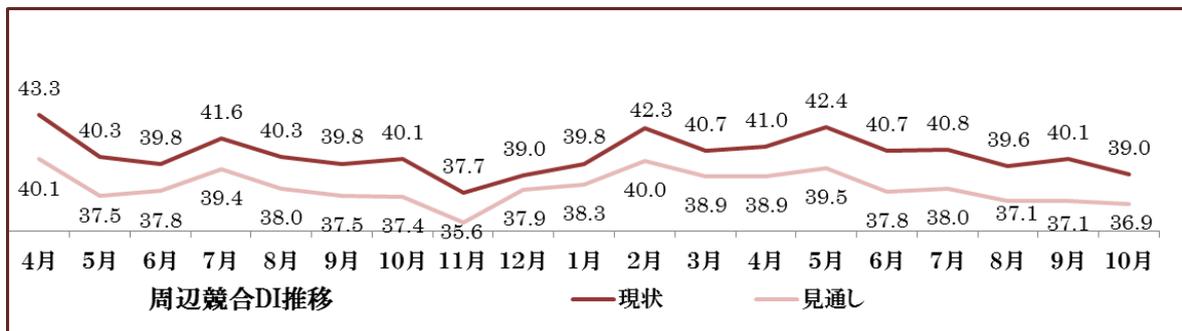
① 景気状況 DI (現状判断・見通し)

現状判断は低下、見通し判断は4月から下降傾向続く



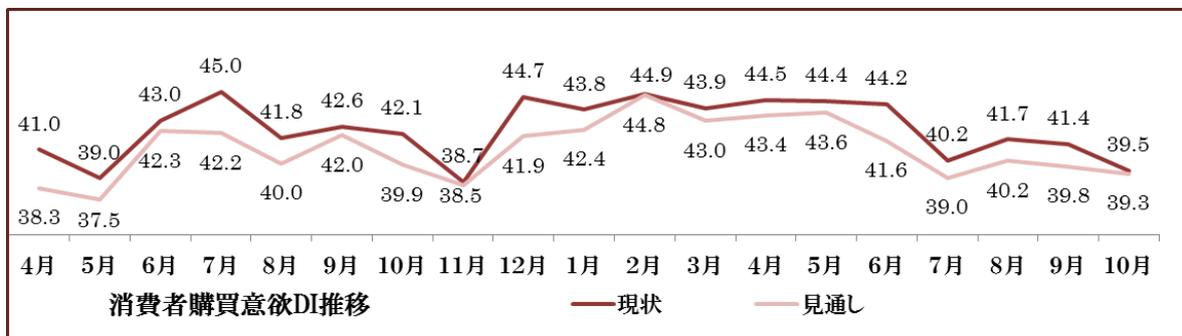
② 周辺競合状況 DI (現状判断・見通し)

現状判断は低下、見通し判断は横ばい



③ 消費者購買意欲 DI (現状判断・見通し)

現状判断、見通し判断共に低下



④ 周辺地域 DI (現状判断・見通し)

現状判断、見通し判断共に低下

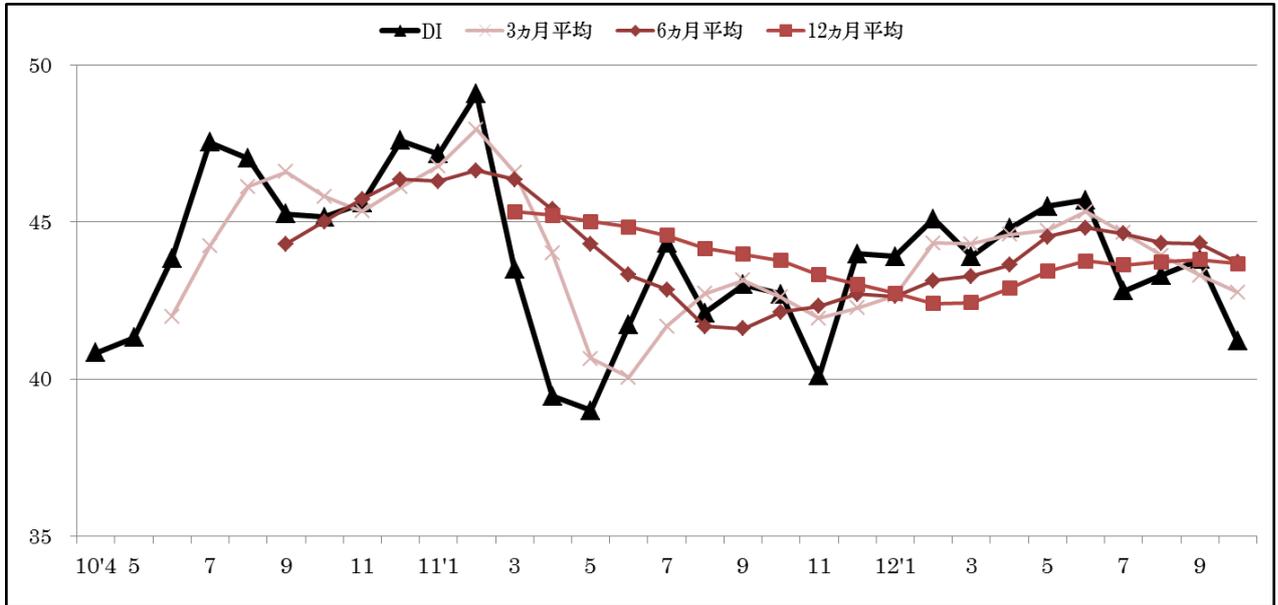


III. 調査関連資料

1. 移動平均（周辺地域景気 DI 現状判断・見通し）

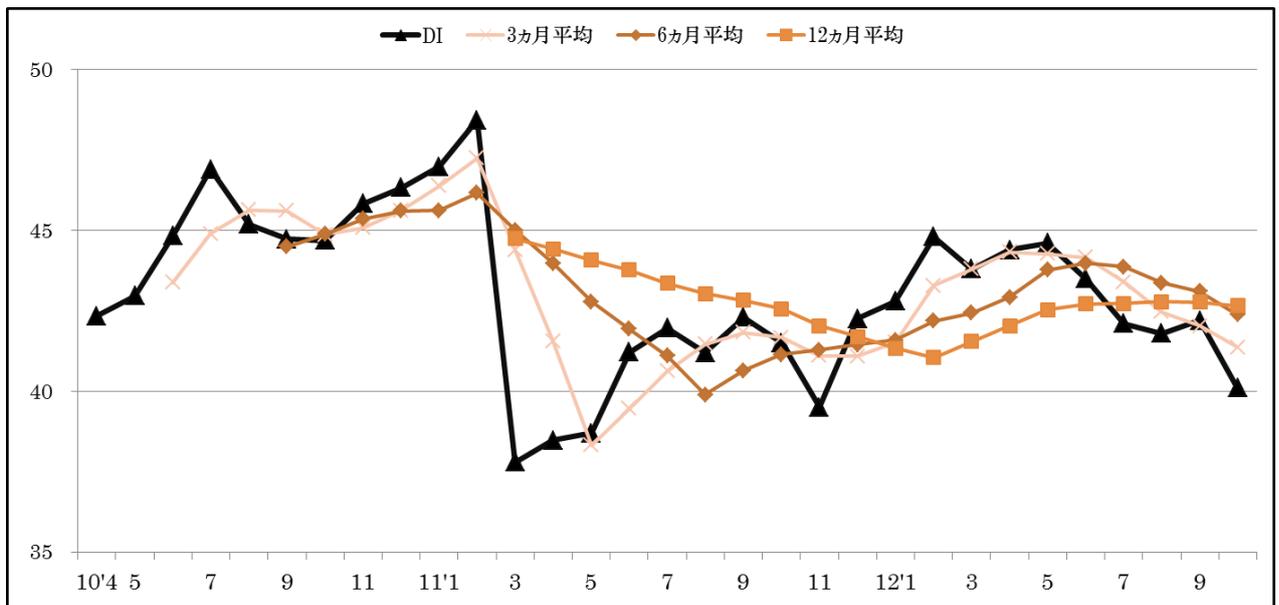
①現状判断（中長期傾向）

6月をピークに単月DIが下降傾向となり、10月は長期傾向を示す12カ月平均線もついに下向きに変化した。これですべての移動平均線が下向き化したことになり、単月DIが12カ月平均線を上回って推移するまでは下降トレンドが続くと推察される。



②見通し判断（中長期傾向）

前月（9月）にすべての移動平均線が下向き化し、下降トレンド入りしている。10月も引き続き単月DIが下降している。回復基調を確認するためには、単月DIが12カ月平均線を上回って推移するのを待たなければならない。

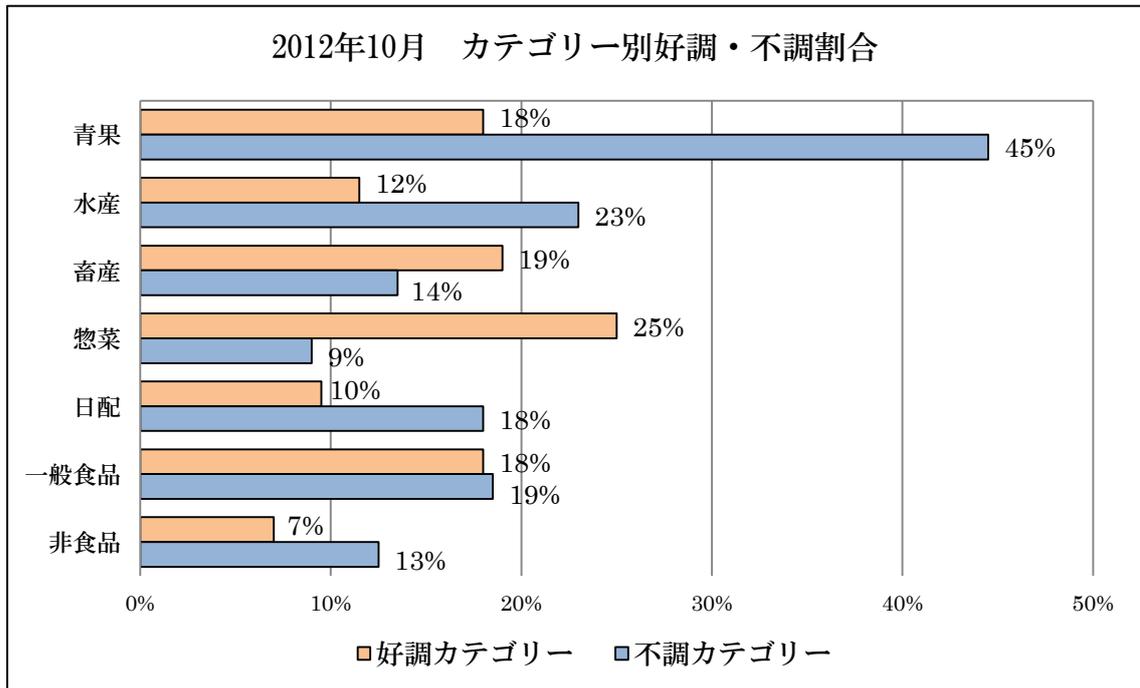


2. カテゴリー別動向

①好調カテゴリー・不調カテゴリー

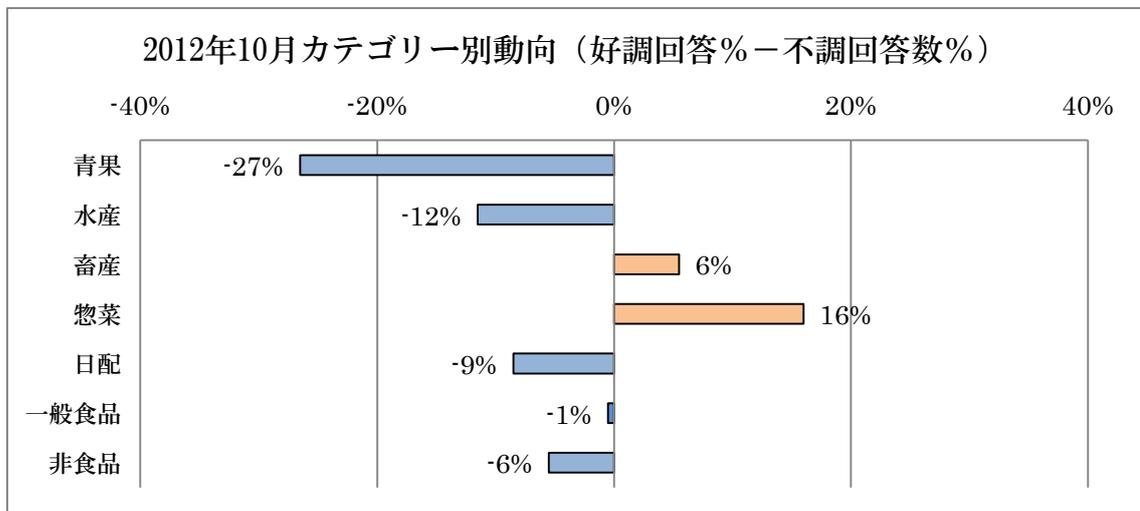
好調の回答が多いカテゴリー：①「惣菜」②「畜産」③「青果」・「一般食品」

不調の回答が多いカテゴリー：①「青果」②「水産」③「一般食品」



好調回答%－不調回答%が多い：①「惣菜」②「畜産」

好調回答%－不調回答%が少ない：①「青果」②「水産」



※N=200 複数回答あり

②カテゴリー別主なコメント

	好調コメント	不調コメント
青果	果物	青果相場安、鍋物商材不振
水産	(刺身)	不漁(高価格)、魚離れ
畜産	牛肉、豚肉相場安	豚肉相場安、昨年の反動
惣菜	行楽・ランチ需要、取り組み強化	
日配	冷凍食品	鍋物商材、漬物、競合
一般食品	飲料、(新米)	酒類、季節商材、競合
非食品	(セールの実施)	他業態(ドラッグストア)との競合